

令和6年8月 号(2)



l

い」と話しています

入園料/大人500円 高齢者、高校生200円

小中学生100円、幼児・障害者手帳お持ちの方無料

global citizens ^{地球市民 vol.7 ドイツ編}

大学を卒業後、秋田県大仙市役所に勤 務。学生時代の米留学を買われて英語通訳 を担当していたが、周囲からドイツ語の勉強 を勧められて退職しドイツに渡った。ムルナ ウやフランクフルトの製パンマイスター高等 専門学校などに通った。「英語とドイツ語は 似ているようで発音は全く違う。英会話がで きることがドイツ語の勉強には障害で、一度 英語を忘れて勉強しました」と苦笑する。その 後、現地で食べたパンの味に「こんなおいし いパンがあるんだ」と感激して職業学校で製 菓づくりを学びながら、パン屋で働いた。「ド イツでは日本の教育とは違い、一つのことに 特化し、パンの発酵だけを1年間教わり疑問 に思いましたが、これで頭と体の動きが理論 的に連動できるようになりました」と振り返 る。そして、このパン屋経営者だったエンゲル ハート・ハインツ-ウルヒリさんと結婚。「本当 にしんどい時に、安心感を持てるハグをして くれた人」と言う。

「子どものしつけは親の評価」

ドイツ人については「問題解決するときに 日本人は、先送りしたり、あいまいにしたがり ますが、ドイツ人は長く語り合って答えを探り 続けようと努力します」と語る。また、ドイツ人 は早起きで7時半には始業するという。そして 子どもが学校に行かないことは許されず、





秋田県大仙市出身。 愛媛大学院卒。1995年、大山市役所入庁。2001 年、ドインに留学。2008年、河原学園・河原外語 観光·製菓専門学校。



▲フランクフルトの製菓パン屋で働く杉沢さん

「親が引っ張ってでも連れて行くという厳しさ があり、それは学校が徹底的に教育してきた ドイツの伝統」。子どものしつけは「親の評価 になると言われていて、子どもにこびずに諭 します」と言う。そして「誠実さ」や「清潔さ」 「時間厳守」を尊ぶ。食事は「朝は王のよう に、夜は乞食のように」ということわざがある ように朝食は豪勢、夜は粗食でBGMは流さ ず静さのなかで語り合う空間を大切にする。

約7年間のドイツ滞在を経て、今は夫と共 に河原学園のパティシエ・ブランジェ科で講 師を務めている。「世界の価値は多様で自分 が心を開いて体感することで考え方も大きく 確立できる」と若者たちに世界に目を向ける ことを促す。

第47回

コールダック編

写真提供/ 愛媛県立 とべ動物園様





見分けやすいです。ぜひ個体識別に ましたが、今年5月に約半年ぶりに ふれあい広場に戻ってきました。 チャレンジしてみてくださいね。

令和6年8月号(3)



令和6年8月 号(4)



住 伊予郡砥部町上原町135-8

営16:00~22:00

(L.O.21:30)

🛦 火曜、臨時休業有

ĸ

火

金

.

P有

▲HP

住 松山市湊町5-4-26 11:00~18:00 (無くなり次第終了)

▲Instagram

女性には

춙

営

P 無

休 水、木曜

新鮮な

数

珍

.

住 松山市湊町3-1-9 MATSUGEKI ATORIUM1F

営 11:30~17:00 (L.O.16:30)

休水、日曜(不定休)

P 無

▲Instagram